

# たまごレストラン

Level 0



ハナとソフィー  
December 2019



「こんにちは、たけしさん！」

「こんにちは！今<sup>こん</sup>ばんは、いっしょに  
ばんごはんを<sup>た</sup>食べましょうか。」

「えっと... 今<sup>こん</sup>ばんはちょっと...」

「じゃあ、火<sup>か</sup>曜<sup>よう</sup>日<sup>び</sup>はどうですか。  
いっしょにひるごはんを<sup>た</sup>食べましょ  
うか。」



「いいですよ。何時なんじに会あいましょうか。」

「ごぜんじゅういちじ十一時はどうですか。」

「十一時はちょっと... 十二時半じゅうにじはんはどうですか。」

「いいですよ。じゃあ、デートを  
しましょうね! またね!」



「こんにちは！メニューをください。」

「はい、どうぞ。」

「どうも。<sup>みず</sup>水もくださいね〜。」

「はい、ちょっとまってください。」



「たけしさん、どんな食<sup>た</sup>べものが  
好きですか。」

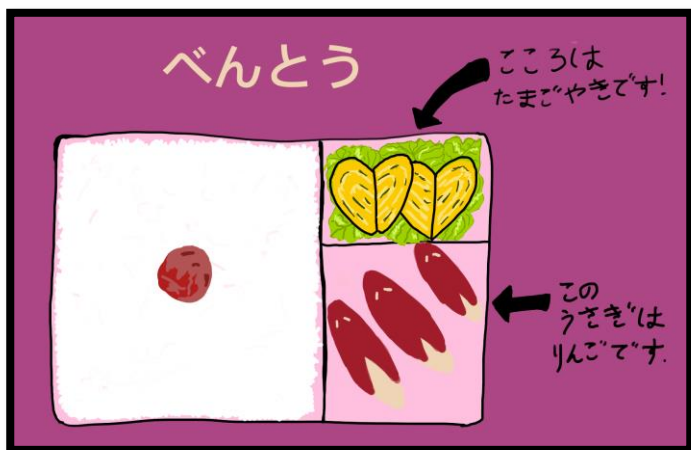


「えっと、たまごのりょうりが大<sup>だい</sup>  
好きです。メアリーさんは、たま  
ごが好きですか。」

「ええ、私<sup>わたし</sup>はかたゆでたまごがす  
好きです。」

「このたまごやきは五百円ごひゃくえんです  
よ。やすいですね。」

「わああ、やすいですね。」



「たけしさん、たまごやきは何<sup>なん</sup>ですか。」

「たまごやきは、日本<sup>にほん</sup>のたまごのりょうりです。ちょっとあまくて、おいしいですよ。」

「そうですね。」



「わあ、このたまごかんとたまごかけごはんはおいしいです。

た  
アメリカにこのたまごの食べもの  
がありませんから。」

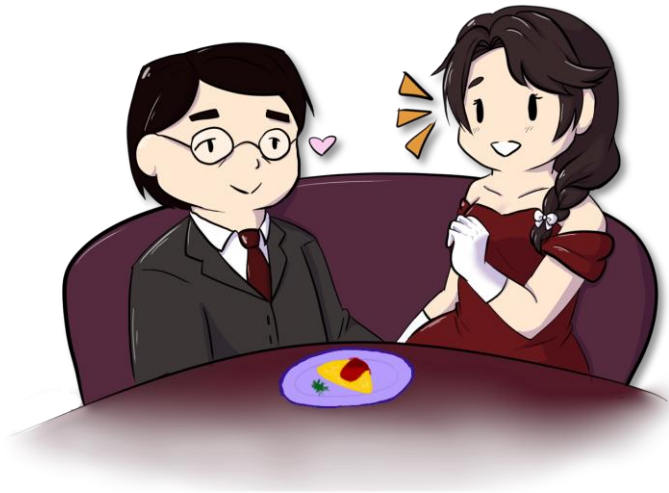




「<sup>み</sup>見て、メアリーさん。<sup>やましたせんせい</sup>山下先生  
もここで<sup>た</sup>食べていますよ。」

「<sup>ひと</sup>あの人は<sup>やましたせんせい</sup>山下先生のおくさんで  
すね。<sup>ふたり</sup>二人はオムライス<sup>た</sup>を食べて  
いますね。」

「お<sup>の</sup>ちやも飲んでいます。ああ、  
おやこどんがきましたよ。」



「これはおやこどんです。どうぞ」

「ありがとうございます。いただきます！」

「いただきます！」

「すごくおいしいですね～」

「はい、そうですね。<sup>つき</sup>次のデートも、<sup>い</sup>ここに行きましょうか」

「はい！ いいですよ。」

<sup>ほく</sup>「僕は、こんど、たまごかけごはんを<sup>た</sup>食べますよ！」



# Credits

Characters from the GENKI series textbooks

Written and Illustrated by  
Hana Sambora and Sophie Weaver

